現在市内の保育園にて保育士として勤務している

先置保育生からの声



PART2

「子どもが好きな気持ち」 *ショートパート保育士(42歳 保育経験14年)

出産を機に保育園を退職、思い通りにならない子育ての中で自分自身も育てられ、新たな気持ちで保育士に復帰しました。不安もありましたが、明るい職場がそんな気持ちを吹き飛ばし、沢山の子ども達に囲まれ「やっぱり子どもが好き」と改めて感じました。シンプルだけど、この思いは保育士を目指した時から私の心の根っこにあったもの。根っこは今も健在です。子どもと同じ目線で関わったり、小さな成長に気づいて喜んだり、手応えを感じています。そして私には応援隊が!我が子は、母親が保育士であることを喜び応援してくれています。応援隊からパワーをもらい、これからも保育士を続けていきたいです。







「初めての保育の仕事」 *ショートパート保育士(45歳 保育経験3年)

独身の頃は一般企業で勤務していました。結婚し二人の子育てをしてみて初めて「子どもってかわいいなぁ」と思い、保育士免許取得を決意し、通信教育で合格する事ができました。いざ働きだすと何をしていいのかまったく分からず、「教えてください」と先生に伝えるとどの先生も丁寧に教えてくれました。

私自身が保育園児の時に覚えていることがあります。先生の顔は覚えていませんが、先生に 絵を褒められた時の先生の声です。まだまだ未熟な自分ですが、その子の良さを声に出して褒 めてあげられる保育士になりたいなと思っています。もしかして、大人になってもその声を覚え ていてくれて、その子の自信になってくれたらなと思い、今、小さな子たちと関われる幸せを感じ ながら仕事をしています。